

関西 SDGs プラットフォーム

2018年度総会

2019年3月24日

主催：関西 SDGs プラットフォーム

## 総会議事録

- |               |   |
|---------------|---|
| (1) 総会の種類     | 年次総会                                    |
| (2) 招集年月日     | 2019年3月24日                              |
| (3) 開催場所      | 神戸市中央区港島中町6-10-1<br>神戸ポートピアホテル ポートピアホール |
| (4) 開催日時      | 2019年3月24日 13時00分～14時00分                |
| (5) 議決権のある会員数 | 600 団体 (出欠問わず 会員総数)                     |
| (6) 総会員の議決権の数 | 600 (同上)                                |
| (7) 出席した会員数   | 113 団体 (当日出席 会員総数)                      |
| (8) 委任状数      | 216                                     |
| (9) 本会議決権の総数  | 329 (出席した会員数+委任状数)                      |

### 総会概要

定刻により、司会進行を務める JICA 関西 田和次長より 2018 年度年次総会の開会が宣言された。議事に先立ち、関西 SDGs プラットフォーム顧問の (公財) 関西・大阪 21 世紀協会の堀井理事長より挨拶が述べられ、お祝いメッセージも披露された。

#### ●開会挨拶 ((公財) 関西・大阪 21 世紀協会 堀井良殷 理事長)

<挨拶概要>

- ・設立当初の会員団体は 141 であったが、今では約 600 団体にまで増え、この 1 年で SDGs の認知度が着実に上がった。
- ・SDGs に関心をもつことで団体、個人ともに自分たちが取り組むべき課題は何かが見えてくる。
- ・企業活動においても SDGs の課題解決に対して投資するという循環が生まれる。
- ・関西 SDGs プラットフォームの取組が全国のモデル、フロントランナーとなることを 切に願っている。

#### ●お祝いのメッセージの披露 (経済産業省 関 芳弘 副大臣)

司会より、本日の総会は出席者 113 団体、委任状数 216 団体の合計 329 団体で、会員数 600 団体 (3 月 24 日現在) の 2 分の 1 以上の出席となるため、運営要領第 3 章第 10 条に基づき、総会が成立していることが確認された。また、本日の総会の議事進行として、運営要領第 3 章第 12 条に基づき、関西 SDGs プラットフォーム運営委員会の井上 剛志委員長を議長に選出した。

#### ●議題 (議長 運営委員長 / (公財) 関西経済連合会 理事・国際部長 井上 剛志 氏)

##### 議題 1 : 設立後の活動振り返り【報告事項】

関西 SDGs プラットフォーム設立後の活動状況のうち、①及び②について、プラットフォーム事務局である JICA 関西の西野恭子所長より、資料をもとに以下説明が行われた。

① 会員登録の状況

総会（2019年3月24日）時点で600団体。うち企業・金融機関等が65%を占める。

② プラットフォームの活動報告

設立後1年3か月の主な活動は以下の通り。

- (ア) プラットフォーム主催コアイベント2回（スポーツ、防災）、会員主導のSDGsイベント含め、全100件のSDGs関連イベントを実施
- (イ) 国連本部における日本政府レセプションでのKSP紹介展示、万博誘致活動と連動したSDGs展示
- (ウ) SDGsビジネスをテーマとした分科会活動の展開と、環境をテーマとした新規分科会の発足
- (エ) 関西地域における企業・経済関連団体のSDGs取り組み状況調査（実施中）

③ 分科会活動

分科会「関西SDGs貢献ビジネスネットワーク」について、事務局である経済産業省近畿経済産業局の村上樹人通商部長より、資料をもとに以下のような説明が行われた。

- (ア) ビジネスネットワークは、2017年12月創設以降、会員数は顕著に増加。
- (イ) 2018年3月にキックオフ会開催を皮切りに、関西SDGsキャラバン（2府5県で開催、延べ747名参加）、SDGs集中講座（4回、延べ109名参加）、SDGsワークショップ（4回、延べ80名参加）、SDGs関連セミナー（3回、延べ500名参加）をそれぞれ開催。
- (ウ) 企業向けアンケート調査を実施し、関西発SDGs貢献取組事例集を発行。

続いて、プラットフォーム会員である一般社団法人エコビジネス推進協会の貴島清美代表理事より、新規分科会「環境ビジネスへのSDGs導入と実践のための分科会」の発足と、5月の分科会開催に向けてのお知らせについて説明が行われた。

**議題2：2019年度の取り組み方針について【審議事項】**

JICA 関西の西野所長より、関西SDGsプラットフォームの2019年度の取り組み方針について資料をもとに説明が行われた。また、分科会「関西SDGs貢献ビジネスネットワーク」の活動方針について、近畿経済産業局の村上通商部長より説明が行われ、いずれも全会一致により、本議案は承認された。

●会員からのご意見・ご提案等

① 特定非営利活動法人関西NGO協議会

関西からSDGsの具体的な取り組みを後押しするために、「関西SDGs基金」創設に向けて、

JICA、NGO、企業や大学関係者とともに有志で勉強会を開始し、今後設立準備委員会を立ち上げる旨が報告された。

② 近畿地方 BBS 連盟

プラットフォームの活動に評価指標をもつべき。PR の効果を測るものとして、例えば関西にある法人税対象の企業の何パーセントが関西 SDG s プラットホームに参加しているのかや、SDG s バッジを付けている人が何人いるか駅前で測定する等。認知や普及の広まりが分かりやすい数値を、国際行事などの場でアピールとして示すこともできるのではないかと考える。また、経済界のみならず、一人ひとりの行動につなげていくためには教育の分野で取り組んでいくべき。ESD の教育活動のなかに落とし込み、手始めにできる日常行動の指標として SDG s バッジをつけるといった取組みも考えられよう。

③ 阪南市

豊かな海の象徴であるアマモの保全・再生を通じ、まちの持つ里海の豊かさの再発見、海と人との繋がりに取り組んでいる。2018 年には全国アマモサミットを阪南市で開催した。

④ 学校法人創造社学園 創造社デザイン専門学校

興味のある方はぜひお声かけくださいとのアピールがなされた。

以上の議事について、運営要領第 3 条第 11 条に基づき、出席した会員の過半数をもって承認となる旨を確認し、出席者の拍手をもって異議なく原案の通り承認された。また、運営委委員及び顧問の体制についても原案のとおり選任し、以上をもって総会の議題の報告及び審議を終了し閉会した。

2019 年 3 月 24 日

議事録作成：関西 SDG s プラットフォーム会員 公益社団法人青年海外協力協会

以上